

1 はじめに

本校は1年生13名、2年生19名、3年生43名の計75名からなる小規模校である。生徒同士は幼稚園や小学校時から互に関わることが多いため、学年関係なく仲がよいことが特徴である。

今年の生徒会が発足した際、生徒会役員から「人数は少ないが、仲がよい平沢中だからこの利点がある。一人一人が主役になれるような活動にしていきたい。」と発言があった。そのため生徒会スローガンが「咲かせ Only One の花 ～全員で目指す No.1～」となり、生徒一人一人のよいところを生かしてさらにより学校を作ろうという目標を立て活動を開始した。

2 資料

(1) スマートフォン等安全利用のためのルール

生徒総会では、毎年「スマートフォン等安全利用のためのルール」について取り扱う。スマートフォン等の利用状況や、どのようなルールを設けるべきかのアンケートを実施し、生徒の実態に合わせたルールを策定する。今年度は全校生徒がルール決めに参加することで、「自分たちが決めたルールだから守ろう」と意識して生活する様子が見られた。

ルール1 確信に基づいて決断する

● 直ぐに決断できる問題がある

● 決断できるものがない限り、一日内(原則朝8時以前)に決断をする

● 決断しないものは「保留」にする

ルール2 トランプゲームで決断する

● マイクのトランプゲームで決断することを確認する

● 決断のしるしを持って審判になる

● 決断のしるしのないカードには付箋を貼る

● 決断しなかったカードは審判に提出しない

● トランプゲームに必ず参加し2人に決断を促す

● 決断できないものは、いかに説明してもいい

● 決断できないものは審判に提出する

● チェアマンの決断を認める

● インターネット上で確認する(決断できないものかどうかをみる)

● インターネット上で決断しないものは審判に提出しない、受け取らない

● インターネット上で決断したものは審判に提出する

● 決断が早い、遅い、審判、審判長、審判員、審判員(審判)のいずれもなしではない

● 決断が審判員に提出しないものは、審判長に提出する

● 決断が審判員に提出しないものは審判員に提出する

★ 確信に基づいて決断するルールを決めてみよう ★

図1 作成したルール

(2) 文化祭

今年度の文化祭では「白紙の 1 ページに特別な思い出を」というテーマに沿って各クラスで学習発表を行った。それぞれの得意分野を生かして役割分担をして準備を行い、全員が活躍することができた。本番では練習の成果を発揮して発表ができ、達成感を得られたようである。



図2 学習発表の様子

(3) 合奏コンクール

例年、平沢中学校では文化祭において合唱コンクールを行っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点からギターによる合奏を行った。生徒は6月頃から練習を始め、文化祭当日には間に合わなかったが、11月21日（土）に発表を行うことができた。練習では、演奏がうまくいかず、壁に当たることもあったが、生徒同士で教え合ったり、励まし合ったりし、全員で一つのものを作り上げる量



図3 ギター練習風景

3 成果と課題

今年度、行事での変更点が多かったが、生徒一人一人が役割をもち活躍する場を創生することで、責任をもって活動する様子や仲間と協力して成功させようと努力する姿をたくさん見ることができた。来年度以降も感染症等の影響で制約はあると思うが、少人数を生かした活動を検討していきたい。